

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 10/29 第19号 文責 林

学校教育目標 「心豊かに探究心をもち、未来へ歩み続ける生徒を育成する」

創立70周年記念式典

10月26日（金）に双ヶ丘中学校創立70周年記念式典を挙行了しました。当日は、晴天に恵まれ、京都市教育長 在田正秀様、右京区長 西田哲郎様はじめ多くのご来賓の皆様にご臨席いただきました。また、地域の皆様や保護者の皆様にも出席していただきました。そして、昭和24（1949）年4月に開校し、20000人を超える卒業生を輩出している双ヶ丘中学校の創立70周年を盛大にお祝いしました。

式典の式辞で、開校当時は、物資も不足していた時代ですが、生徒や教職員の皆さんが、力を合わせて学校作りを推進されたことを心に刻んでほしいこと、親子三代が本校で学ばれている方も珍しいことではなく、地域に支えられた学校であることに誇りを感じることを、そして次代を担う生徒の皆さんには学校教育目標にもある「探究心」を大切に自分自身で課題を発見し、課題解決に力を注いでほしいことを伝えました。

ご来賓の祝辞の後、歴代卒業生の3名の方から生徒に激励の言葉をいただきました。O様は、ご自身の中学校生活を振り返って、いろいろなチャレンジをして充実した中学校3年間にしてほしいことを語られました。T様は、「親友」「信友」「心友」など「しんゆう」にも様々な意味がある。友達を大切にしてほしいことを語られました。T様は、好きなことを続ける大切さを語られました。3名の卒業生からの熱いメッセージが生徒の皆さんの心に響いたことでしょう。生徒会長のSくんからは、多くの方に支えられて学校生活が送れていることに感謝し、全校生徒の力で双ヶ丘中学校をより良くしていこうというあいさつがありました。

最後は、全校合唱です。曲名は「ふるさと」。長い時間をかけて練習して、文化祭の合唱コンクールでも披露しましたが、今回が総まとめです。Mくんの指揮、Tさんのピアノ伴奏ですばらしいハーモニーを体育館内に響かせてくれました。聞いていて感動しましたし、ご来賓や地域の皆様からもお褒めの言葉をいただきました。練習の成果をしっかりと発揮してくれました。創立70周年の伝統ある双ヶ丘中学校を心の「ふるさと」にして、各々が自分の信じる道を進んでいってください。そして、「ふるさと」の歌詞にある「雨降る日があるから虹が出る 苦しみぬくから強くなる 進む道も夢の地図も心の中にある」ことを実感してください。

双ヶ丘中学校は、これからも未来に向けて歩み続けます。

